**造影CT検査についての説明書（患者様用**）

➤検査の必要生について

ヨードを含む造影剤を静脈内に注入しながら行う検査です。造影剤を使用することでより小さな病変の存在や病気の性質などがわかりやすくなり、診断のための重要な情報が得られます。

➤造影検査の作用

造影剤の副作用として以下の２つがあります。

【即時性副作用】

造影剤使用直後から30分以内に起こります。

軽症：嘔気, 嘔吐, 喉頭不快感, くしゃみ, 咳, 発疹（局所性）, 発赤, 掻痒感

重症：血圧低下, ショック, アナフィラキシー様症状, 呼吸停止, 心停止, 心室頻拍,

喉頭浮腫, 意識障害など（0.01～0.02％）

死に繋がるような重篤な副作用（0.005～0.01％）

【遅発性副作用】

造影剤使用後約30分後から数日後に起こります。

発疹・発赤・悪心・嘔吐・血圧低下・頭痛など。

異常を感じた場合や副作用と思われる症状があれば速やかに当院の方へご連絡ください。

➤造影剤を使用することに対し注意が必要な患者様

※該当する場合は申し出てください

①造影剤副作用歴がある方 ②甲状腺機能障害がある方

③腎機能に障害がある方 ④気管支喘息のある方

⑤糖尿病薬を服用している方 ⑥妊娠の可能性がある方

➤検査中の注意事項

・造影剤注入中に体が熱く感じることがありますが、ほぼ全員に起こる症状で心配ありません。

・造影剤による副作用は検査中あるいは検査直後に起こることが多いです。異常を感じた場合や副作用と思われる症状があれば、検査中でもためらわずに声やジェスチャーでお知らせください。

症状によっては、副作用を改善させる処置が必要となる場合があります。また、重篤な場合は救命措置が必要となる場合があります。

・造影剤を勢いよく注入するため、血管外に造影剤が漏れる場合があります。この場合は、注射部位が腫れて痛みを伴うこともあります。一般的に、時間が経てば吸収されますが、腫れが強い場合は処置が必要となりますのでお知らせください。

・前回の検査時に副作用の症状がなくても、今回の検査時に副作用の症状が出る可能性はあります。

➤検査後の注意点

・造影剤は尿として排泄されます。水分制限のない方は、検査後多めに水分を摂るようにしてください。

・生活に制限はありませんので、食事や入浴は普段通り行っていただいて構いません。

・ごく稀に、検査後３０分から数日に副作用が起こる場合があります。症状が発現した場合はすぐに当院救急科にご連絡ください。

➤費用について

・撮影方法によって異なりますが、３割負担の方で６，０００円～１３，０００円になります。

➤食事制限、水分制限について

・造影剤を使用するため、検査予約時間の３時間前までに食事を済ませてください。

　また、水分は水のみとし、検査の30分前まで摂取可能です。

※検査着へ着替えて頂く場合があります。